

・・・・・・・・「史料紹介コーナー」・・・・・・・・

平成26年度も、各都道府県出身の陸海軍将官の中から毎号一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物などに関連する史料を紹介しています。

《 ^{すずき たかお} 鈴木 孝雄 1869～1964年 》
—千葉県出身の陸軍大将—



装備研究委員会第1回報告 (登録番号：陸軍省-密大日記-S3-3-10)

鈴木孝雄大将は、明治24年7月、陸軍士官学校(2期)を卒業後、野戦重砲兵第1旅団長、第14師団長、技術本部長などの要職を歴任しました。この史料は、昭和2年9月15日、技術本部長鈴木大将が陸軍大臣白川義則大将に提出した「装備研究委員会第一回報告提出ノ件」です。本委員会は、「列強陸軍ノ平戦両時ニ於ケル個人装備及部隊装備ノ現況並其趨勢ヲ調査シ之ヲ我カ国状ニ照合シ科学上及技術上ノ見地ニ基キ将来国軍ノ採ルヘキ装備並兵器ノ性能等ニ関シ適確ナル参考資料ヲ得ントスル」ことを目的とし、大正15年5月に設立したものです。以来30数回の会合を重ね、その成果を「装備研究委員会規定」や「装備研究委員会議事要領」などとともに、約400頁にわたる「装備研究委員会報告 第壹号」としてまとめています。



学士出身将校教育 (登録番号：陸軍省-大日記乙輯-S3-1-23)

この史料は、技術本部長鈴木大将が陸軍大臣白川大将に提出した「学士出身将校教育ニ関スル件」(昭和2年12月13日付)で、別冊として「学士出身技術将校教育ニ関スル意見」が添付されています。「意見」は、現在の学士出身技術将校は「採用ト同時ニ見習士官ヲ命セラレ約二箇月間軍事学術科及技術勤務ノ教育ヲ受ケテ中尉ニ任官シ直ニ実務ニ服スルコトナリ居レルモ此制度ニ於テハ軍事教育不十分ナル為将校トシテ軍事技能ニ欠クル所アリテ執務上遺憾ノ点アリ」、「将来ハ任官後ノ教育期間ヲ約六箇月トシ其間約三箇月ハ軍隊ニ服務シテ軍事学術科ヲ習得シ三箇月ハ技術本部及造兵廠等ニ就テ勤務ヲ実習スル如ク定メラレンコトヲ希望ス」とするもので、付箋紙には「右意見ノ如ク実施シ度キ意見ナリ」とする兵務課の見解が記されています。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない、一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「閲覧が一時不能となる史料」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断転載・複製はお断りします。

防衛研究所企画部企画調整課

専用線：8-67-6522、6588 (史料紹介コーナーのみ6668)

外線：03-3713-5912

FAX：03-3713-6149

※ 防衛研究所ウェブサイト：<http://www.nids.go.jp>